記者発表資料

平成　２２年　１１月２日
阿武隈川水系（下流支局）・名取川水系
水質汚濁対策連絡協議会　事務局
国土交通省　仙台河川国道事務所

灯油の使用の増加、降雪・凍結による交通事故での油漏れが増大する冬場に備えて

油流出事故に備えてオイルフェンス設置訓練を実施！

阿武隈川水系（下流支局）・名取川水系水質汚濁対策連絡協議会では、冬場の暖房などによる灯油の使用や、降雪・凍結による交通事故での油流出のリスクが高くなる時期を前に、毎年、国・県・流域市町、消防等の関係機関及び油処理資材メーカーとの協働により、油流出事故を想定したオイルフェンス訓練を実施しています。
今年は、名取川を会場に実施しますので、お知らせします。

河川の水は、飲料水・工業用水・かんがい用水など多目的に利用されているほか、さまざまな生き物が生息し、住民の憩いの場となっております。

このような河川において、地域住民の生活に重大な影響を及ぼす様な水質事故が発生した場合には、その処理に多大な労力と費用を要します。

水質事故規模の大小に関わらず、水質事故を発生させないことが一番でありますが、万一水質事故が発生してしまった場合には、被害を最小限にくい止めるため迅速な対応が重要です。

【実施月日】　平成２２年１１月５日（金）　９：３０～１２：００
［予備日　平成２２年１１月１２日（金）９：３０～１２：００］

【実施場所】　名取市高舘熊野堂字中河原地内（名取川右岸河川敷）

【実施内容】　① 準備工・オイルフェンス展張
② メーカーによる小排水路での処理方法等の実演・資材展示

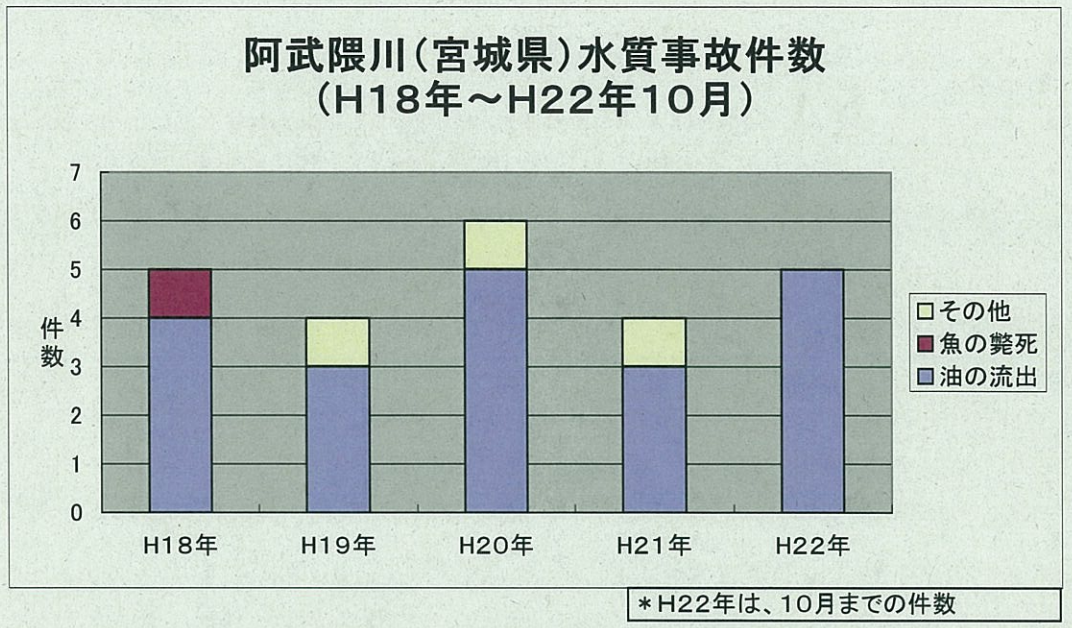
【実施機関】　流域市町、消防本部、関係機関、油処理剤メーカー　約７０名

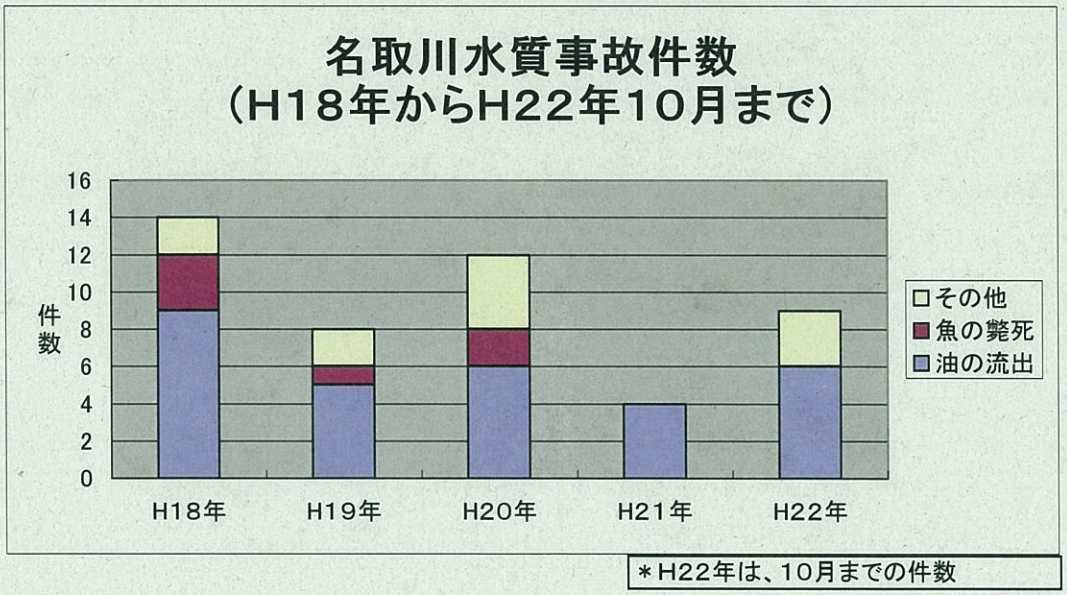
記者発表先：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会、専門紙

問　い　合　わ　せ　先

阿武隈川水系（下流支局）・名取川水系水質汚濁対策連絡協議会
事務局　東北地方整備局　仙台河川国道事務所
仙台市太白区郡山五丁目六番六号
TEL　０２２－２４８－４１３１（代表）
河川管理課長　　畑山　作栄　（内線３３１）
専門職　　内田　正　　（内線３３０）

（参考）





＊昨年（H21年）と比較すると、**阿武隈川は昨年の4件を1件上回る5件、名取川については昨年の4件を2倍以上、上回る9件が発生**している。
　これから冬期シーズンを迎え、さらに増加する事が懸念される。

＊H22年発生の水質事故の要因は、油系の流出が主で阿武隈川で100%、名取川では67%を占める。

（参考）

昨年のオイルイルフェンス設置訓練実施状況

【H21.11.10　名取川左岸河口河川敷　仙台市若林区藤塚】



開会式



準備工：ロープ結び



取材状況



オイルフェンスの繋ぎ合わせ



ボートによる展張作業



油処理資材メーカー
による展示・実演状況

オイルフェンス設置訓練会場位置図

名取市高舘熊野堂字中河原地内
（名取川右岸河川敷）



